

ジオパーク新規認定をめざして！ 現地調査が行われました！

8月17日(火)～20日(金)にかけて行われたジオパークの現地調査の様子をお届けします。今年度のジオパークの認定に向けた審査はこれで終了しました。ご協力いただきました地域の皆さまに感謝申し上げますとともに、今後もジオパークへのご理解・ご協力をお願い申し上げます。

こんには、ジオパーク専門員の森口さん。少し前の話になるけど、8月の現地調査ってどうやったがですか？

新型コロナウイルスや天候の影響が懸念されていたけど、無事に行われたよ。調査員の先生たち、私たちもしっかり感染症対策を心がけたよ。そして、今年はお盆から大雨が続いていて、期間中も天候が不安定だったけど、野外調査時は雨もやんで、竜串などのジオサイトを実際に見てもらうことができたよ。

へー、それは、良かった。無事に行われるように、僕も応援しようがですよ。

それはどうもありがとう。現地調査は地域のいろんな人たちの力を借りて行われたし、SNSなんかでも応援メッセージをいただいで、とても励みになったよ。本当にありがとう。地域の皆さんにも、この場を借りて、お礼申し上げます。

現地調査ではどんなところを見たが？

調査員の先生たちは3泊4日で土佐清水に来て、丸2日間で土佐清水の見どころをまわり、地域の人たちとの意見交換を行ったよ。全部は紹介できないから、一部を紹介するよ。調査2日目は、市街地や半島地域をメインに、土佐清水ジオパーク構想のテーマ『一黒潮と共に生きる一漁師が生まれる大地の物語』を感じてもらえるようなジオツアーや、産業関係の方たちとの意見交換を行ったよ。

DAY2



ジオガイドさんによる「土佐の清水さばツアー」！市場のさばの生賞を見学したり、いろんな人たちに話をきいてもらったよ。

これは、宗田節のボトルづくり体験だね。宗田節は土佐清水の風土が作り出した逸品だもんね！



ここはどこ？

松尾の女城鼻だよ。松尾や足摺にはこんな花崗岩のできた磯があって、この花崗岩の大地に土佐清水の魚が美味しい理由があるよ。

調査3日目は、ジオパークの拠点施設でもある竜串ビジターセンターうみのわや、三崎と竜串周辺で防災や教育、観光への取り組みを見てもらったよ。

DAY3



市史編さん室の田村室長が三崎地区の自然災害碑を案内してくれたよ。

自然災害碑を使った防災学習やイベントなんかもジオパークでやりようがやね。

このグニャグニャの地層は、竜串海岸やね。調査員さんたちも竜串海岸ができた1700万年前の激動の時代を体感したがやね。



もう少しすると、審査結果の詳細を示した報告書が届くよ。これから、さらに土佐清水ジオパークを良いものにしていくために、そこに示されていることや地域の皆さんの声をききながら、ジオパークの行動計画を新たに作っていくよ。認定されたら、さらに地域での活動を充実させていかないとイケないし、日本ジオパークネットワークの中で主体的に活動することも求められているよ。大地の遺産の継続的なモニタリングや自然資源の管理、地場産業との連携など持続可能な地域づくりのためにはまだまだたくさんの課題があるよ。

審査が終わったからといって、ジオパークの活動は終わりじゃないがやもんね。

そうだよ。だから、これからも一緒にジオパークのこと、土佐清水のこと、大地のこと、色々学んで、一緒に活動しようね！

